

令和3年度愛媛県 NPO 法人育成支援事業
【地域協働推進活動助成】企画提案書

令和3年5月21日

次のとおり、標記事業について企画提案書を提出します。

申請団体名	八幡浜みなと みなと交流館 (特定非営利活動法人 八幡浜元気プロジェクト)
総事業費及び 希望する県補助金額	総事業費 356,000円 (うち希望補助金額 300,000円)
事業概要	<p>申請事業の概要を100～200字程度にまとめて記載してください。</p> <p>①4年経過し協賛店が大幅に増加した「一食一善プロジェクト」の更なる拡がりを図り、市民への寄付文化の啓発に合わせ、寄付を受ける側の地域活動団体における情報発信、支援者とのコミュニティ形成のサポートを行います。また、一般受入・無指定部分の寄付金については、地域活動団体を応援する資金(基金)として積み立てを行い、地域活動団体への分配の方法を決定します。</p> <p>②平成30年西日本豪雨災害の教訓をベースに、取り組みを行った八幡浜市内における三者連携(行政・社協・みなと交流館)に企業を加えた「四者連携」の枠組みを基に設立した八幡浜市版の情報共有会議「トロール会議」を開催します。平時から、緊急時を想定した連携方法、情報共有体制やフォーマットの整備等を行います。</p> <p>③子どもたちに八幡浜の地域資源を活用した社会を良くするビジネスのアイデアをプラン化し、案をブラッシュアップし、プレゼンテーションを実施することを通じて、次代を担う「子どもたちの育成」を目的とした、八幡浜ソーシャルビジネスコンペを実施します。</p> <p>④オンラインを含めた多チャンネルでの相談体制を構築するため、「地域活動おたすけヘルプライン」の構築に取り組みます。相談体制として、みなと交流館窓口だけではなく、チャットツールやSNSのメッセージ機能、メール、ビデオ通話等を活用します。利用にあたっては、みなと交流館に団体登録をしている地域活動団体で、営利を主な目的としない団体とします。</p>
事業実施期間	交付決定日から令和4年3月15日まで

1 目的・目標	<p>(1)事業の背景となる地域の課題やニーズ等について記載してください。</p> <p>① 地域活動の新たな起ち上げ支援や新規事業のサポートニーズは高く、小回りの効いた相談はもちろんではあるが、資金面でのサポートも必要であるため、その原資を確保する必要がある。</p> <p>② 従来は、“発災してから”立ち上がる「情報共有会議」であるが、緊急時の対応を前提にしたときに平時から、緊急時を想定した連携方法、情報共有体制やフォーマットの整備等が必要。</p> <p>③ 大学・専門学校がない当エリアにとって、地域活動の担い手としての若年層(子ども)の存在は大きく、その感性やアイデアをまちぐるみで評価・応援する必要がある。</p> <p>④ コロナ禍で対面相談・セミナーが難しいため、オンラインで気軽に質問ができる体制を整え、多様化するニーズに応える必要がある。</p>
	<p>(2)課題を解決するための提案事業との関連について記載してください。</p> <p>① 資金サポートができなかった課題を無指定寄付による「ご縁基金」運用により解決</p> <p>② 緊急時に、より迅速・効率的に動くことが可能になる</p> <p>③ 小中高生に働きかけるイベントにより、地域へ目を向けるきっかけとなり、長期的観点でまちづくりの担い手として育成できる</p> <p>④ コロナによる不確実性を排除し、ニューノーマルな支援体制として安定的に運用することができる。</p>

	<p>(3)事業の目標(地域課題の解決の支援に係るモデル的な事業を実施することで期待される成果)を記載してください。</p> <p>① 寄附金額全体の増額により、無指定寄付の増額が見込まれる。助成の仕組みができ、毎期資金面でもサポートできるようになる。</p> <p>② 平時から顔の見える関係をつくりながら、発災時に備えた各種フォーマット整備、連携役割等の明確化が図られる。</p> <p>③ 八幡浜に関わるソーシャルビジネスのアイデアが全国から集まり、地域活動団体の活動ヒントになるだけでなく、提案者との協働が生まれる。</p> <p>④ 個別相談件数の増加。顧客満足度の向上。当組織内での知見の共有化（ケースバイケースに対応したナレッジ（ノウハウ）の蓄積）。</p> <p>(4)目標達成のために工夫する点を記載してください。</p> <p>中間支援の実務を行う「みなと交流館」の職員も積極的に関わり、共有意識を持ったうえで、継続的な支援を行っていきます。</p> <p>なお、本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初想定の方法で実施できないことも予想されることから、オンライン等代替方法も柔軟に取り入れます。</p>
2 実施体制	<p>貴団体及び協働して事業に取り組む各主体等を含めた事業の実施体制について記載してください。</p> <p>中間支援業務に関しては、以前より中間支援業務を手掛けている八幡浜元気プロジェクトが主導していますが、事業の効果を最大限広げるために、引き続き、みなと交流館の他部門の職員の参画を促しながら全館をあげて地域等の課題解決に取り組める体制を構築します。</p>
3 スケジュール	<p>事業の進め方、段取り等が分かるように、いつ、どのような活動を行うのか、スケジュールを具体的に記載してください。</p> <p>(1)「まちトーク」(2021年5月・9月・2022年1月の計3回) ※5月開催分は助成対象外</p> <p>(2)「一食一善プロジェクト2021」(2021年11月から2022年1月までの期間)</p> <p>(3) 防災関連の運営(随時) ※交付決定日までの経費は助成対象外</p> <p>(4) 八幡浜ソーシャルビジネスコンベ(10月)</p> <p>(5) 地域活動おたすけヘルプライン(未定) ※交付決定日までの経費は助成対象外</p> <p>※講師のスケジュールによっては変更の可能性があります。</p>

※記入欄が不足する場合は、適宜、枠を広げてください。

事業収支計画書

1 収入の部

区 分	予 算 額(円)	摘 要
助成金(本件)	300,000円	愛媛県NPO法人育成支援事業費補助金
自己財源	56,000円	
収 入 計	56,000円	

2 支出の部

区 分	予 算 額(円)	摘 要
報償費 (講師謝金)	170,000円	① まちトークゲスト 10,000円 (2名×5,000円) ② 防災関連 ネットワーク構築 60,000円 ③ 地域活動おたすけヘルプライン 100,000円
需用費 (消耗品費等)	128,000円	① まちトーク関連 8,000円 ② 八幡浜ソーシャルビジネスコンペ関連 50,000円 ③ 地域活動おたすけヘルプライン 30,000円 ④ 一食一善プロジェクト2021関連 40,000円
委託料(外注費)	58,000円	① まちトーク関連 8,000円 ② 一食一善プロジェクト2021関連 50,000円
支 出 計	356,000円	

※1 申請しようとする事業に関する収支計画(見込)を記載してください。

※2 団体の全事業に係る計画ではないのでご注意ください。